

# JUKI

第 87 期

平成13年上半期

## 中間事業報告書

平成13年4月1日から

平成13年9月30日まで

### JUKI 株式会社

## 株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社平成13年度上半期（平成13年4月1日から平成13年9月30日まで）の中間事業報告書をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

当社は平成11年度からの3ヵ年中期経営計画に掲げた基本方針に基づき、グループ一丸となって、広汎な改革を推進してまいりました。

### 1) 事業構造を改革し、財務改善をはかる

工業用マシン及び産業機器を中心とした基幹事業の強化を更に推し進め、特に工業用マシンでは、生産・販売両面での中国における事業展開を一段と強化いたしました。

また一方で、中核事業との関連が薄い事業分野については縮小、または撤退を行うことでグループ全体の資産効率の向上、借入金の削減等による財務構造の改善をはかっております。

### 2) 効率を高め、収益を改善する

グループ全体の収益構造を見直し、コストの削減と効率の向上をはかっています。特に業務改革の一環としてERP（統合業務管理）システムやSCM（サプライ・チェーン・マネジメント）の導入準備を進め、お客様の満足をより高めるとともに、業務運用コストの削減をはかっています。また、本社部門を中心とした組織・業務の抜本的な見直しを行い、『小さな本社』の実現を目指すとともに間接部門の効率化を促進し、更に今年6月から執行役員制度の導入により業務執行の責任・権限の明確化、そして意思決定の迅速化をはかっています。

### 3) 新製品重視の取り組みを強化する

お客様のニーズを的確に踏まえた、魅力ある新製品をタイミングよく市場に投入し、商品力を更に強化するため、三次元CAD（コンピュータ設計支援）及びPDM（製品データ管理）システムの導入を推進しております。

### 4) 品質を重視した経営を行う

製品・サービスの全てに亘る品質保証活動の徹底によって、信頼頂ける「JUKI」のブランド力の更なる向上を推進しております。

当社の産業装置事業部における品質保証システムISO-9001の取得に続き、グループ各社においても現在ISO-9001の取得に向け、取り組みを行っております。また、今年6月に国領・大田原の両事業所において、環境マネジメントシステムISO-14001を取得いたしました。今後も更に環境に配慮した企業活動を推進してまいります。

以上の改革により企業体質は着実に改善されつつありますが、当上半期は米国経済の減速、IT（情報技術）関連事業の停滞などにより、国内外設備投資の抑制を受け、特に産業装置事業、光関連事業の売上は大幅に減少いたしました。その結果、連結売上高は589億4千7百万円（前年同期比13.0%減）、経常利益は6億8千6百万円（前年同期比78.7%減）となり、また単体売上高は391億1千8百万円（前年同期比17.9%減）、経常利益は5億7千9百万円（前年同期比58.5%減）となりました。下半期につきましても国内ではデフレ圧力の長期化、米国における同時多発テロによる景気の先行き不透明感など厳しい経営環境が継続することが予想されるため、誠に遺憾ではありますが当期の中間配当は見送らせていただくことといたしました。株主の皆様には誠に申し訳ございませんが、何卒よろしくご理解のほどお願い申し上げます。

今後につきましてはこの厳しい経済環境に対処するため、更なる経営改革を断行するとともに、今年9月に新設したNB（New Business）企画部を軸としてグループ各社との連携を強化し、新たな事業分野の創出にも一段と努力いたします。

私どもJUKIはグループの総力を結集し、業績の回復に努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成13年12月

取締役社長 中村和之

## 中間連結貸借対照表

(平成13年9月30日現在)

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
<b>流動資産</b>	<b>118,082</b>	<b>流動負債</b>	<b>116,619</b>
現金及び預金	17,601	支払手形及び買掛金	14,814
受取手形及び売掛金	31,405	短期借入金	88,409
有価証券	420	未払費用	3,877
棚卸資産	63,368	未払法人税等	922
その他	7,771	賞与引当金	1,788
貸倒引当金	△ 2,484	その他	6,808
<b>固定資産</b>	<b>45,299</b>	<b>固定負債</b>	<b>39,098</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>24,246</b>	社 債	500
建物及び構築物	9,252	長期借入金	32,307
機械装置及び運搬具	4,701	退職給付引当金	5,371
土地	6,297	役員退職慰労引当金	218
その他	3,995	その他	700
<b>無形固定資産</b>	<b>1,998</b>	<b>負債合計</b>	<b>155,718</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>19,053</b>	<b>少数株主持分</b>	<b>537</b>
投資有価証券	7,500	<b>資 本 の 部</b>	
その他	12,242	資 本 金	9,941
貸倒引当金	△ 689	資 本 準 備 金	6,900
<b>繰延資産</b>	<b>1,113</b>	欠 損 金	3,954
		その他有価証券評価差額金	△ 2,009
		為替換算調整勘定	△ 2,637
		<b>資本合計</b>	<b>8,239</b>
<b>資産合計</b>	<b>164,494</b>	<b>負債・少数株主持分・資本合計</b>	<b>164,494</b>

- (注) 1. 記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 保証債務残高 481百万円  
 3. 受取手形割引高 4,087百万円  
 4. 有形固定資産の減価償却累計額 46,468百万円  
 5. 1株当たり中間利益 29円46銭

## 中間連結損益計算書

(平成13年4月1日から  
平成13年9月30日まで)

(単位：百万円)

売上高		58,947
売上原価		37,796
<b>売上総利益</b>		<b>21,151</b>
販売費及び一般管理費		18,072
<b>営業利益</b>		<b>3,078</b>
<b>営業外収益</b>		
受取利息及び配当金	201	
その他の営業外収益	542	743
<b>営業外費用</b>		
支払利息	1,454	
その他の営業外費用	1,682	3,136
<b>経常利益</b>		<b>686</b>
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	4,370	
投資有価証券売却益	9	4,379
<b>特別損失</b>		
固定資産売却及び除却損	175	
投資有価証券評価損	95	
債権等譲渡損	793	
その他の特別損失	443	1,507
<b>税金等調整前中間純利益</b>		<b>3,558</b>
法人税、住民税及び事業税	618	
法人税等調整額	239	
過年度法人税等戻入額	△300	557
<b>少数株主利益</b>		<b>13</b>
<b>中間純利益</b>		<b>2,986</b>

(注) 記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

当社第87期上半期（平成13年4月1日から平成13年9月30日まで）の営業の概況につきまして次のとおりご報告申し上げます。

## 営業の概況

当上半期のわが国経済は、米国のIT（情報技術）バブルの崩壊に端を発したハイテク需要の落ち込みや同時多発テロ、あるいは民間設備投資抑制や消費不況とも言われる個人消費の低迷等の影響により、景気の回復は容易に期待できない厳しい局面にあると思われまます。

このような経済環境のもとで、当社は開発・製造・販売・管理のすべての分野において合理化・効率化を進めてまいりましたが、当上半期の売上高は391億1千8百万円（前年同期比17.9%減）、経常利益は5億7千9百万円（前年同期比58.5%減）となりました。

また、遊休土地（東京都調布市）の売却等による特別利益として44億5千3百万円を計上し、一方で子会社への投資損失引当として48億9千3百万円を計上いたしました結果、中間利益は2億5千3百万円（前年同期比41.8%減）となりました。

部門別にみますと、工業製品部門では、国内衣料需要の減退と価格破壊が、縫製業の海外移転に更に拍車をかけるなか、当社は衣料需要減少に合わせた減産体制を取りました結果、国内売上高は前年同期比22.7%減となりました。

輸出は、前年同期に比べ円安に推移し、中国、東南アジア向けは堅調に推移いたしましたが、米国向け売上の落ち込みが大きく影響し、また、国内向け同様に流通在庫の圧縮を行いました結果、輸出売上高は前年同期比7.5%減となり、工業製品部門合計の売上高は218億3千8百万円（前年同期比8.5%減）となりました。

家庭製品部門では、新製品として今年6月より発売いたしました最高級コンピュータミシン（ジュレーブ）が好調で、昨年を引き続いてこの分野では高い国内シェアを維持することができました。しかしながら、一段と強まりつつある個人消費低迷の影響を受け、コンピュータミシン全体の売上は伸び悩み、宝飾品・健康商品を合わせた家庭製品部門合計の売上高は106億4千1百万円（前年同期比4.1%減）となりました。

産業装置部門では、モジュラータイプの中型高速チップマウンター（KE-2000シリーズ）は発売以来高い評価をいただいておりますが、米国に端を発したIT不況は、予想をはるかに上回る国内外の設備投資抑制となって、当社のチップマウンターの受注も急速に減少する結果となり、産業装置部門合計の売上高は64億3千7百万円（前年同期比46.8%減）となりました。

以上申し述べました当上半期の業績により、中間配当につきましては見送らせていただきたく、株主の皆様には誠に申し訳ありませんが、何卒よろしくご理解賜りますようお願い申し上げます。

下半期も厳しい経済環境が続くと思われませんが、業績の回復に向けて引き続き努力を重ねてまいりますので、株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

以上

## 中間貸借対照表(単体)

(平成13年9月30日現在)

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
<b>流動資産</b>	<b>60,782</b>	<b>流動負債</b>	<b>72,553</b>
現金及び預金	3,148	支払手形	6,840
受取手形	12,205	買掛金	4,851
売掛金	9,781	短期借入金	53,873
有価証券	420	未払法人税等	199
棚卸資産	23,717	賞与引当金	1,082
短期貸付金	9,109	その他	5,706
その他	5,898	<b>固定負債</b>	<b>29,630</b>
貸倒引当金	△ 3,497	長期借入金	25,792
<b>固定資産</b>	<b>59,686</b>	退職給付引当金	3,443
<b>有形固定資産</b>	<b>8,380</b>	役員退職慰労引当金	143
建物	2,784	その他	250
機械装置	1,277	<b>負債合計</b>	<b>102,184</b>
土地	2,832	<b>資本の部</b>	
その他	1,486	<b>資本金</b>	<b>9,941</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>959</b>	<b>法定準備金</b>	<b>8,329</b>
<b>投資等</b>	<b>50,346</b>	資本準備金	6,900
投資有価証券	11,695	利益準備金	1,428
子会社株式・出資金	29,666	<b>剰余金</b>	<b>3,026</b>
長期貸付金	8,375	任意積立金	300
長期滞留債権等	486	別途積立金	300
その他	5,933	中間未処分利益	2,726
貸倒引当金	△ 918	(うち中間利益)	( 253)
投資損失引当金	△ 4,893	その他有価証券評価差額金	△ 2,010
<b>繰延資産</b>	<b>1,002</b>	<b>資本合計</b>	<b>19,286</b>
<b>資産合計</b>	<b>121,471</b>	<b>負債及び資本合計</b>	<b>121,471</b>

- (注) 1. 記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 保証債務残高 18,192百万円  
 3. 受取手形割引高 10,246百万円  
 4. 有形固定資産の減価償却累計額 25,338百万円  
 5. 1株当たり中間利益 2円50銭

## 中間損益計算書(単体)

(平成13年4月1日から  
平成13年9月30日まで)

(単位：百万円)

<b>経常損益の部</b>		
<b>営業損益の部</b>		
売上高		39,118
売上原価		26,943
販売費及び一般管理費		10,365
<b>営業利益</b>		<b>1,809</b>
<b>営業外損益の部</b>		
<b>営業外収益</b>		
受取利息及び配当金	723	
その他の営業外収益	340	1,063
<b>営業外費用</b>		
支払利息	890	
その他の営業外費用	1,402	2,293
<b>経常利益</b>		<b>579</b>
<b>特別損益の部</b>		
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	4,371	
貸倒引当金戻入	81	4,453
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	18	
投資損失引当金繰入	4,893	
投資有価証券評価損	70	4,982
<b>税引前中間利益</b>		<b>50</b>
法人税、住民税及び事業税	96	
過年度法人税等戻入額	△ 300	△ 203
<b>中間利益</b>		<b>253</b>
前期繰越利益		2,472
<b>中間未処分利益</b>		<b>2,726</b>

(注) 記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

## 役員

(平成13年9月30日現在)

取締役会長	山岡建夫	代表取締役
取締役社長	中村和之	代表取締役
専務取締役	鈴木恵喜	CFO(最高財務責任者)兼 CAO(最高管理責任者)
専務取締役	杉原靖男	工業用ミシン事業部長
常務取締役	佐々木正	家庭製品事業部長
常務取締役	塩見賢吾	産業装置事業部長
常務取締役	齋藤武	CPO(最高生産責任者)
取締役	藤田正邦	総合企画部長
常勤監査役	鈴木幹男	
常勤監査役	河村真也	
監査役	岡部進	
監査役	栗田盛而	
上席執行役員	仲野敏一	ジューキ電子工業(株) 代表取締役社長
執行役員	吉田勉	重機(中国)投資有限公司 代表取締役社長
執行役員	三宅智久	CTO(最高技術責任者)

1. 取締役8名は執行役員を兼務しております。
2. 監査役 岡部 進氏並びに栗田盛而氏は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

## 会社の概況 (平成13年9月30日現在)

設立	昭和13年12月15日
資本金	9,941,213,750円
発行済株式総数	101,375,990株
株主数	11,687名
従業員数	1,966名
営業品目	工業用ミシン アパレルシステム機器 皮革厚物機器、産業機器 電子機器、家庭用ミシン 健康商品、宝飾品

## 株式についてのご案内

決算期日	3月31日
定時株主総会	6月
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目5番1号 (〒100-0005) <b>みずほ信託銀行株式会社</b>
事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目5番1号 (〒100-0005) <b>みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部</b>
郵便物送付先 及びお問合せ先	東京都江東区佐賀一丁目17番7号 (〒135-8722) <b>みずほ信託銀行株式会社 証券代行部</b> 電話 0570-000324 (専用ダイヤル) (03)-3462-4004 (代表)
同取次所	<b>みずほ信託銀行株式会社 全国各支店</b> <b>安田信託銀行株式会社 本店及び全国各支店</b> <b>みずほインバスターズ証券株式会社</b> 本店及び全国各支店

**JUKI**

東京都調布市国領町 8 - 2 - 1

TEL 03-3480-1111

URL <http://www.juki.co.jp/>

証券コード 6440